

ひと ひと

女と男の情報紙

# 笑がお



## 一瞬の笑顔

かなり昔の話。

夫との離婚問題でいろいろ悩んでいたとき、ひとりふらっと出かけたN県のお店でのこと。

赤ちゃんを抱いた若いお母さんがいた。

赤ちゃんはまだ1歳未満。お母さんの腕の中からあちこち見回していた。

その目線と私の目線が会ってしまった。

かなりいろいろあり、私は相当に不機嫌な顔をしていたと思う。

その顔に興味がわいたのか、じっと私を見つめてくる。

でもあまりのあどけなさに、つい微笑んでしまった。

その瞬間だった、赤ちゃんの顔が光を放つように笑ったのだった。

まるで、もう悩むのはやめなさい。そのまま自分が進もうとしている道をいけばいいよ。

とってくれたように思われた。

後で考えれば、赤ちゃんはこの時期、相手の顔を真似て表情を作るというから、

私の微笑みにあわせてただけかもしれない。

でも、その輝くような笑顔は、私の道を決めさせてくれた。

今、その選択の正しさをかみしめながらあの笑顔を忘れられない私がいる。

みんなが笑顔でいられるために……

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを

一緒に考えていきませんか？



# イキイキ笑顔人

自分らしく  
輝いている人見つけた！



ファイルNo.17: 酒井 正光 さん 47歳  
吉川小学校、南中学校、吉川高校を経て保育専門学校へ。  
東京都精神障がい者施設勤務の後、父親の経営する育咲学園の  
運営に携わる。37歳で同学園の園長に。趣味はサーフィン。  
妻と6歳、0歳の子どもの4人家族。吉川市在住。

大切なのは、“本物の体験”。  
どの子ども“主人公”になれる保育で  
“生きる力”を育んでいます。

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな……。  
育咲保育園の酒井園長の周りには、いつも子どもたちの  
歓声が聞こえます。  
「もっと遊びたい！」の声に応じて園庭を子どもたちと  
一緒に走りまわる酒井園長に、イキイキ「笑顔」のわけ  
を語ってもらいました。

## 遊びの中から芽生える「思いやり」

子供たちと一緒にいると、いつも感動があります。  
先日も園庭でプールの準備をしていたら、「僕たちが  
するから、園長先生は腰が痛いんだから休んでいい  
よ」と年長児たちがみんな手で伝ってくれました。きちん  
と最後まで手際よく仕事をやり終える姿を目の当たりに  
しながら、私の腰痛を気遣ってくれる思いやりの気持ちが  
嬉しくてたまらなかったですね。子どもたちの成長ぶ  
りに感動しました。

毎日の遊びの中で、子どもたちの心は育っていきます。  
例えばザリガニ釣り。餌を付けたり、釣り上げたザリガ  
ニをつかむのが得意な子に「〇〇ちゃんに教えてあげて」  
と声をかけると、一生懸命に手伝ってくれます。友だち  
に「ありがとう」と言われながら自分も嬉しくなる。人の  
ために何かをする喜び、思いやりが芽生える場面です。  
保育の仕事は、そこに立ち会える幸せな仕事だと思いま  
す。

## 父の背中を見て目指した保育の道

保育の道に選んだのは、父の影響が大きかったですね。  
農業を営んでいた父が、地元の吉川に念願の幼稚園を創  
設したのは30年以上も前のことです。ちょうど私が高  
校在学中で、子どもに囲まれてイキイキしている父を見  
て、将来の進路を決めました。

専門学校を卒業し東京都の障がい者施設で働いた後、  
幼稚園から「育咲保育園」として再スタートをしていた父  
の仕事を手伝うようになりました。23歳でした。

バスの運転から、体操指導、園便りの発行など、雑務全  
般を引き受けて忙しかったですね。

でも、一番やりたかった保育現場のクラス担任ができ  
ない状態でした。不満がたまって一時期は都内の幼稚園  
に就職したこともあったのですが、程なく父に呼び戻さ  
れました(笑)。それからは、保育と運営の両方に関わり、  
37歳で園長を引き受け現在に至ってます。

## 誰もが主人公になれる保育

毎日の保育の中で大切にしているのは「本物の体験」  
です。子どもは実際に自分ができたこと、成功体験が多  
ければ多いほど、ぐんと成長します。ですから、年間を  
通して子どもたちがさまざまな体験にチャレンジできる  
ような環境を整えています。畑に野菜の種をまき育て収穫  
して、その野菜を調理することや、鎌を使って田んぼ  
の稲刈りもする。竹馬や木ぼっくり、こま回しといった  
伝承遊びにも力をいれています。例えば、竹馬はプラス  
チック材でなく子ども足の指にちょうどいい太さで、指  
の発達も促す自然の竹を竹林から採ってきて手作りした  
ものを揃えています。

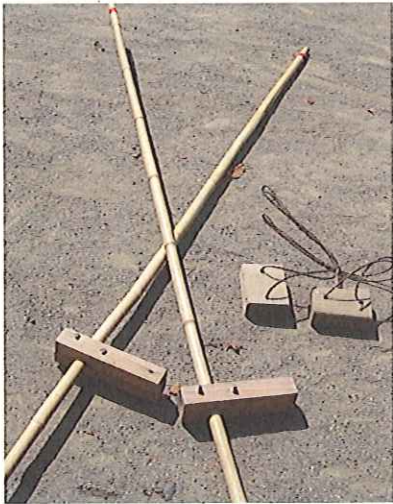
手先が器用で包丁が上手い子、竹馬を自在に操る子、  
こま回しの得意な子、それぞれの場面でヒーロー・ヒロ  
インが出てきます。誰もが、どこかで主人公になれる。  
そんな体験が子供たちの生きる力になっていくのだと思  
っています。



## 自然の中でもっと全身を使った遊びを

私が子どもの頃の吉川には、今よりずっと豊かな自然がありました。夏の朝、家の前の樹を蹴飛ばせば、クワガタがどさどさと落ちてきたほどでしたが、区画整理で残念ながら樹木が減ってしまいました。

それに、子どもたちが群れ遊ぶ原っぱもなくなりました。吉川の子もたちも環境が変わってきたことで、外遊びが減って体力が落ちてきているように思います。少し前はサッカーで遊んでいて大人からパスを奪えるような子がいたのですが、今はいなくなっていますね。



園長手作りの「竹馬・木ぼっくり」

子供たちには、自然の中でもっと全身を使った遊びをして欲しいと思っています。

そんな願いもこめて、園庭にはクワガタが大好きなクヌギを植えたり、思いっきり水遊びもできる「いくえい山」を作りました。海辺で集めた流木をアクセントに使ったり、楽しみながら手作りもして頑張りました(笑)。そのうち、ツリーハウスも作りたいと計画中です。保護者のお父さんたちと一緒につくれたら、子どもたちがもっと喜ぶでしょうね。



井戸水を流し込む浅い池がある「いくえい山」

# 男女共同参画 イメージイラスト 募集!

市民の皆さんに、男女共同参画をより身近に感じて頂くため、男女共同参画をイメージするイラストを募集します。

「吉川市男女共同参画ワークショップ」は、現在、市と協働し、第3次吉川市男女共同参画基本計画に関する研究と調査を行っています。

当ワークショップにおきまして、計画書や男女共同参画事業で使用するイラストを募集しています。ぜひ、ご応募ください。

なお、計画書の表紙を飾るイラストは、十一月に開催する「市民まつり」で投票・決定する予定です。

**募集内容** 男女共同参画をイメージし、応募者本人が創作した未発表のイラスト。画材は自由です。  
※応募作品は原則、返却しません。また、イラスト使用時には、掲載スペースの都合などにより、若干の加筆訂正をお願いする場合があります。

**応募方法** 十月三十一日(金)までに、次の①・②を直接、郵送またはメールで市民参加推進課へ。

- ① イラスト(A4判縦・用紙自由)
- ② 住所、氏名、年齢、電話またはファクス番号、メールアドレス(様式自由)

### 宛先・お問合せ

市民参加推進課 ☎982・9685、

ファクス981・5682、

✉shiminsanka2@city.yoshikawa.saitama.jp



# 男女共同参画社会とは、

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。

それでは、吉川市民の皆さんは、今の社会をどう感じているのでしょうか。昨年、実施した「吉川市男女共同参画計画策定基礎調査」の結果をご紹介します。

## あなたが感じる男女の平等感は？

- 全体として、「平等」と感じている人の割合

平成12年度  
17.9%

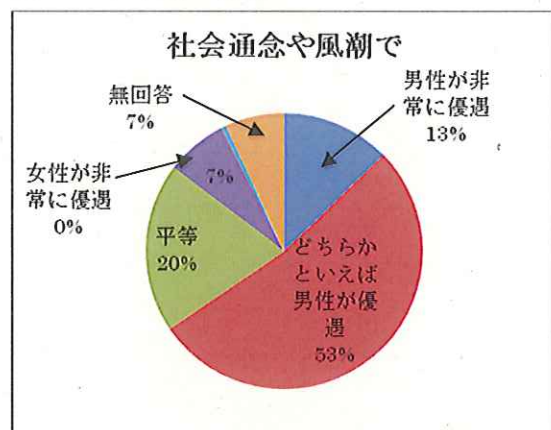
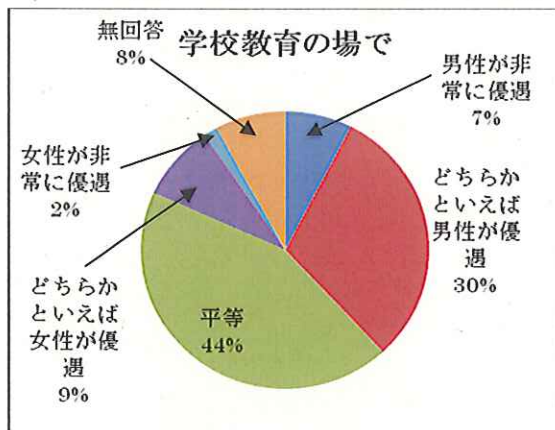


平成17年度  
19.7%



平成22年度  
36.5%

- 「学校教育の場」と「社会通念や風潮」で感じる平等感の割合



「学校教育の場」と「社会通念や風潮」とでは、平等感に違いがあることが分かります。しかし、年々、平等感は高まっており、少しずつ、男女共同参画社会に近づいていると言えるのではないのでしょうか。

これからも、みんなで、男女共同参画社会を築いていきましょう。

「笑がお」は、年4回発行。おあしすや市役所、市内公共施設でご覧いただけます。

## 募集しています

- この情報紙「笑がお」作成に参加して頂ける方を募集しています。
- この情報紙「笑がお」に掲載する「笑顔」の写真も募集中です。

いずれも、下記あてにお気軽にお問い合わせください。

## 発行 笑がおの会・吉川市

※「笑がおの会」は、吉川市男女共同参画推進市民会議OBの活動から生まれました。

## 問合せ 吉川市 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当

〒342-8501 埼玉県吉川市吉川 2-1-1

☎048(982)9685 FAX048(981)5682 ✉yoshikawa-mail@city.yoshikawa.saitama.jp

※題字については、榎垣民子さんのご協力をいただきました。